

学報



2018年12月 Vol. 736

サラマンカ大学（スペイン）と大学間学術交流協定を締結

第35回岐阜シンポジウムを開催	01
岐阜大学・FC岐阜 環境連携事業 岐阜う米(まい)プロジェクト第2弾「稲刈り体験」を開催	02
フエ大学（ベトナム）と大学間学術交流協定を締結	04
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」フォーラム『地域貢献型大学における女性研究者の活躍とAI研究力分析』を開催	05
第52回岐阜大学フォーラム「環境ユニバーシティフォーラム」開催	06
岐阜大学・FC岐阜 環境連携事業 岐阜う米(まい)プロジェクト2018	
FC岐阜選手へ「岐阜う米(まい)」を贈呈	07
防災シンポジウムを開催	08
秋のクリーンキャンパスを実施	10
平成30年度第8回学長記者会見を実施	11
秋の国際月間 「学長主催国際交流パーティー」を開催	13
サラマンカ大学（スペイン）と大学間学術交流協定を締結	15
森脇学長と鈴木理事が日本・スペイン学長会議に出席	17
The 3rd ICCC 2018: A Green Paperless Collaboration Conference Between Sebelas Maret University, Indonesia and UGSAS, Gifu University, Japan を開催	18
表彰受賞者	19
外国人研究者の受入	21
産官学連携の実施状況	22
メディア掲載一覧	24
諸会議	30
主要日誌	32
人事異動（学内限定）	35
平成30年度永年勤続者表彰（学内限定）	36

第 35 回岐阜シンポジウムを開催

本学は11月4日（日）に第35回岐阜シンポジウムを開催した。

今回のシンポジウムは「岐阜大学の芸術・文化に浸ろう!」と題し、2019年に創立70周年を迎える岐阜大学の中で生み出された芸術・文化を紹介した。

2019年の創立70周年を記念するため、教育学部音楽教育講座の教員が作曲した曲の演奏で開場し、教育学部美術教育講座の教員がキャンパスにある美術作品の紹介と講評が行われ、研究発表とシンポジウムでは、様々な観点から大学のキャンパスはどうあるべきかの議論がなされた。最後に創立70周年を祝うための「岐阜大酒」の名称募集コンテスト結果発表があり、厳正な選考の末、決定された名称「多望の春 岐山」、「多望の春 曲阜」が発表された。

会場内及び会場周辺にはキャンパスの将来構想に基づいた縮尺模型や、美術教育講座の教員、学部生・院生、卒業生による作品が展示され、作品の紹介とともに実際の作品を間近で鑑賞することができた。

当シンポジウムは、参加者がキャンパス内にある芸術・文化に触れ、未来の大学キャンパスはどうあるべきかを考える有意義なシンポジウムとなった。



森脇学長による開会挨拶



シンポジウム「大学キャンパスの未来を語る」の様子

岐阜大学・F C岐阜 環境連携事業
岐阜^{まい}う米プロジェクト第2弾「稲刈り体験」を開催

本学は、11月11日（日）「岐阜大学と岐阜フットボールクラブとの環境保全における連携に関する覚書」に基づき、岐阜^{まい}う米プロジェクト第2弾「稲刈り体験」を岐阜大学応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター北農場で行った。

「岐阜^{まい}う米プロジェクト」とは、お米ができる自然環境をより身近に感じ、環境保全について考えてもらうことを目的に、田植えから収穫までを本学とF C岐阜が協力して行っているものである。

当日は、今年6月にプロジェクト第1弾「親子田植え体験&どろんこサッカー」に参加した本学教育学部附属小学校の児童とF C岐阜のサッカースクール生あわせて35名とその家族の総勢62名で稲刈りを行った。

収穫したのは、児童が田植えをして実りを迎えた稲で、品種は岐阜県特産の「ハツシモ」である。参加者は秋晴れの空のもと、センター長の大場伸也教授より、稲刈りについて穂が垂れて来ると稲刈り時期であること、100年に一度くらい飢饉があり稲穂がつかないこともあるなどの説明を聞いた。その後センター職員の指導を受け、稲刈りが無事にできるとに感謝しつつ、稲を刈り取った。刈り取った稲は天日干しするため紐で束ね、^{はさき}稲架に掛ける作業も行った。参加者は力を合わせ、約530平方メートルの田んぼの稲を収穫した。

また、脱穀・粳摺り・精米体験も行い、田植えから収穫、脱穀・精米と家庭にあるお米ができるまでを体験し、お米ができる自然環境を身近に感じる事ができた。

参加児童からは「お米の秘密（脱穀・粳摺り・精米）を知ることができて、楽しかった」「一粒、一粒が大切に作られていることがわかったので、大事に食べたい」などの意見が聞かれた。

この日収穫したお米は、本学農場の販売所で販売するとともに、F C岐阜の選手にも贈呈する予定である。



参加者に説明する大場センター長



センター職員による作業説明



稲刈り作業



稲架(はさ)掛け作業



集合写真

フエ大学（ベトナム）と大学間学術交流協定を締結

11月11日（日）～14日（水）まで、森脇学長がフエ大学（ベトナム）との大学間学術交流協定の調印式を行うため、トゥアティエン＝フエ省（以下、フエ省）を訪問した。

フエ大学はベトナム中部フエ省の市街に立地しており、ベトナム全土に100以上設置されている国立大学のうち14大学が指定されている重点大学の一つで、ベトナム中部の中核となる大学である。

本年4月に、本学応用生物科学部とフエ大学の構成大学であるフエ農林大学が、研究者交流及び学術資料や刊行物の交換を行う部局間学術交流協定を締結している。今回はこれまでの交流内容に加えて、留学生の相互受入れ、共同研究等の更なる促進を目指し、大学間学術交流協定として締結する運びとなった。

ベトナム訪問中の古田肇岐阜県知事や尾藤義昭岐阜県議会議員長らが見守る中、調印式が行われた。調印式の中でグエン・クアン・リン フエ大学学長は「フエ大学として、特に農業分野と観光分野が重要であると考えており、今後、岐阜大学との連携を更に進めていきたい」と発言した。また森脇学長からは、「今回の大学間学術交流協定締結により、両大学の学生及び研究者の交流が更に活発になるとともに、岐阜県とフエ省、更には日本とベトナムの交流発展につながっていくことを確信している」と発言した。

調印式後、森脇学長はフエ大学の歴史等の展示が行われている「フエ大学伝統室」と、構成大学の1つである「フエ観光大学」を訪問した。

本学とフエ大学は、今回の協定締結をきっかけとし、今後様々な分野で交流していくことが期待される。



調印式の様子

下段左より

森脇学長、グエン・クアン・リン学長

上段左より

尾藤 義昭 岐阜県議会議員長

古田 肇 岐阜県知事

ファン・ゴック・トー フエ省人民委員会委員長

カイ・ヴィン・トゥアン フエ省議会副常任議長



森脇学長からグエン・クアン・リン学長への記念品贈呈

「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」フォーラム『地域貢献型大学における女性研究者の活躍と AI 研究力分析』を開催

本学は11月2日（金）、第53回岐阜大学フォーラム 文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」フォーラム『地域貢献型大学における女性研究者の活躍と AI 研究力分析』を開催した。

第1部では、エルゼビア・ジャパン株式会社の高石雅人氏が2017年にエルゼビア社が発表した『ジェンダーレポート』について紹介し、続いて本学の利光哲哉特任講師（研究推進・社会連携機構）がAI（人工知能）を用いて本学の研究者をグループ化して分析した結果や学部・専門分野を越えた人的ネットワークの可視化について実演を交えながら解説した。

第2部のトークセッション「岐阜で研究者としてのキャリアを構築する」では、女子大学院生および企業や大学で活躍する女性研究者6名が登壇し、それぞれの立場から岐阜で研究者としてキャリアを構築する（してきた）ことについて語り合った。ここでは、岐阜県内には国際的に高い評価を得ている研究者が数多く活躍しており、研究環境の面で不利に感じることはほとんどないことや、保育園への入りやすさや自動車通勤など居住環境の面からも研究生活を送りやすいといった指摘があった一方で、家事・育児負担が女性（妻）側に偏る傾向が強いため、女性が研究者としてキャリアを積み上げていくためには夫婦の役割分担や職場環境、社会サービスの活用などが重要といった発言があった。

その後の質疑応答では、日本における職場慣行の問題点やAIによる研究分析の可能性に関する質問のほか、トークセッションでの女性研究者の言葉に勇気づけられた等の発言があり、第1部・第2部を通して多角的な視点から女性研究者やダイバーシティ社会について再考する有意義なフォーラムとなった。



トークセッションの様子

第52回岐阜大学フォーラム「環境ユニバーシティフォーラム」開催

11月14日（水）本学において、第52回 岐阜大学フォーラム「環境ユニバーシティフォーラム」を開催した。この行事は、本学が「環境ユニバーシティ宣言」をした11月を岐阜大学環境月間と定め、関連行事として毎年開催しているものである。今回は、宮内庁式部職の山下哲司鵜匠を講師に迎え、講演していただいた。学内外から92名の参加者があり、熱心に耳を傾けた。

講演に先立ち、大藤総務・財務担当理事による挨拶と土井応用生物科学部教授による山下鵜匠の紹介が行われた。

その後山下鵜匠より「長良川の鵜飼」と題し講演していただいた。この中で山下鵜匠は、1300年以上受け継がれてきた長良川鵜飼の歴史について、漁場が豊富であること、時の権力者に保護されてきたことが、今日まで受け継がれてきた大きな要因であると語り、鵜匠の服装やその役割についても、実際に風折烏帽子を頭に巻いて見せながら説明された。

また、鵜を紹介し、鮎を飲み込む様子を実演し、参加者の注目を集めた。

鵜は雄雌の区別がつきにくく2羽1組として鵜籠で育てられており、野生の鵜を捕獲したのち、漁ができるよう教育するのに3年程度かかることや、人間に慣れさせることの大変さなどに触れ、人と鵜が心を通わせ、思いを一つにして漁を行っていると話された。

参加者からは、現役の鵜匠の話が聞けてとても良い機会となった、話し方にメリハリがあり興味深く聞くことができた、鵜を間近で見ることができ迫力があつた、などの感想をいただいた。

本学は、今後も様々な知識を集結して環境対策を推進していく予定である。



山下鵜匠と鵜

岐阜大学・F C岐阜 環境連携事業 岐阜^{まい}う米プロジェクト2018
F C岐阜選手へ「岐阜^{まい}う米」を贈呈

本学は、11月17日（土）「岐阜大学と岐阜フットボールクラブとの環境保全における連携に関する覚書」に基づき、岐阜^{まい}う米プロジェクト2018において協力して育てた『岐阜^{まい}う米』40kgを、F C岐阜の選手に贈った。

「岐阜^{まい}う米プロジェクト」とは、お米ができる自然環境をより身近に感じ環境保全について考えてもらうことを目的に、田植えから収穫・販売までを、本学とF C岐阜が協力して行っているものである。

参加した小学生が、第1弾「親子田植え体験・どろんこサッカー」で田植えをし、第2弾「稲刈り体験」で稲を刈り、第3弾として「贈呈」を行った。贈ったお米は、岐阜県特産の品種「ハツシモ」で、学内で苗の生産から袋詰めまで全てを行ったオリジナルの『岐阜^{まい}う米』である。

この日は、本学教育学部附属小学校の児童とF C岐阜のサッカースクール生あわせて16名が、F C岐阜のホーム最終戦が行われる岐阜メモリアルセンターで岡本享也選手にお米を手渡した。

児童は「愛情が詰まったお米を食べて、来年も頑張ってください」と笑顔で声援を送り、岡本選手は「皆さんが育てたお米を食べて、来季も頑張ります」と意気込みを語った。

今回4年目となる本プロジェクトでは、多くの方が笑顔で自然と触れ合う姿が見られ、「米」を通じて環境について考えるとともに、本学とF C岐阜の連携による環境事業を知っていただくよい機会となった。

『岐阜^{まい}う米』は本プロジェクトに参加した児童へも贈られた。また、本学農場の販売所で販売も行っている。



記念撮影

防災シンポジウムを開催

11月20日(火)、本学は防災シンポジウムをみの観光ホテル(美濃市)にて行った。防災シンポジウムは、近年の自然災害から多くの教訓を学び、学術的知見に基づき、防災・減災を参加者と共に考えることを目的として開催している。

シンポジウムは森脇学長、武藤美濃市長の挨拶に始まった。

森脇学長は「このシンポジウムでは、岐阜大学の最新の学術研究に基づき、タイムリーな内容となっている。是非、地域の自助・公助に役立ててほしい」と挨拶した。

基調講演では能島 暢呂工学部教授が「中濃地域の地震に備える」と題して、原田 守啓流域圏科学研究センター准教授が「気候変動が長良川流域の自然災害リスクに及ぼす影響と適応策」と題して講演を行った。

能島教授は中濃地域の活断層や近年の地震災害における教訓を説明しつつ、「強い揺れ」に備えるために、事前に地元の危険箇所を知り、個人や地域の防災力を向上させることを強調した。

原田准教授は岐阜県中濃地域に被害をもたらした「平成30年7月豪雨」について解説し、きめ細かいリスク情報を把握し、被害を受けにくい「まちづくり」が必要だと訴えた。

シンポジウム後半では「平成30年7月豪雨から学び、将来の災害に備える」というテーマで高木朗義工学部シニア教授がワークショップを行った。

シンポジウムは行政職員、地域住民等、定員を大幅に超える280名の参加があり、今後の自然災害について共に考える有意義なシンポジウムとなった。



挨拶をする森脇学長



基調講演する能島工学部教授



ワークショップを行う高木工学部シニア教授

秋のクリーンキャンパスを実施

本学は、11月21日（水）、清掃活動「秋のクリーンキャンパス」を実施した。

本学は、平成21年11月に『環境ユニバーシティ』を宣言し、環境に配慮した大学づくりに取り組んでいる。この『環境ユニバーシティ』を宣言した月に因んで、毎年11月を岐阜大学環境月間とし、さまざまな行事を実施しており、「秋のクリーンキャンパス」もその環境月間行事の一環として毎年実施している。

当日は、教職員や学生714名が参加し、一時間程度キャンパス内のゴミや落ち葉などを集めた。この他、例年通り、本学のキャンパス内に校舎がある岐阜薬科大学の職員や学生の参加協力があった。

キャンパス内の清掃活動とともに、「大学周辺ゴミ0（ゼロ）活動」も実施した。その活動には、有志の学生の参加もあり、教職員と合わせて45名が参加した。大藤総務・財務担当理事より「大学周辺の環境をよくするために、みんなで協力したい」と呼びかけがあり、参加者は大学周辺の道路や畑のまわりの清掃活動を行った。



大学周辺ゴミ0（ゼロ）活動開始の挨拶をする大藤総務・財務担当理事



大学周辺ゴミ0（ゼロ）活動の様子



キャンパスの清掃の様子

平成30年度第8回学長記者会見を実施

本学は、11月21日（水）に、平成30年度第8回学長記者会見を実施した。

今回の会見では、森脇学長から「岐阜大学大学院共同獣医学研究科共同獣医学専攻設置」について、「岐阜大学の将来ビジョン」と関連させて説明を行い、次いで杉山応用生物科学部長、海野応用生物科学部教授からこれまでの経緯、新研究科の特徴等、詳細について説明を行った。

本学では、平成25年度から鳥取大学と共同獣医学科を設置し、獣医学教育の連携・協力を図ってきた。2019年4月からは大学院共同獣医学研究科共同獣医学専攻が新たに設置される。

新研究科では、遠隔講義システム等を活用し、両大学の教員が互いの学生に対する教育及び研究指導に参画し、獣医学教育者及び研究者養成のための細かな指導を行う。

また、学部教育で目指す獣医学ジェネラリスト育成を基盤として、一貫した教育理念に基づいた大学院教育を行い、以下3つの高度獣医学スペシャリストを養成することを目指す。

1) 家畜衛生・公衆衛生スペシャリスト

鳥インフルエンザ、口蹄疫などの家畜伝染病を中心とする有事に即応できる能力を備え、地域県及び市の指導的リーダーとして役割を果たす家畜衛生や公衆衛生分野のスペシャリスト

2) One Health スペシャリスト

人獣共通感染症などに対し、人・動物、環境を含めた感染症制御に関する国際的課題に対応できる高度な専門的知識とリーダーシップおよびコミュニケーション能力を備えたスペシャリスト

3) 難病治療・創薬に関わるスペシャリスト

難治性疾患治療などの高度診療拠点のリーダーとして地域社会へ貢献できる高度な臨床獣医師の養成を行うと共に、基礎研究の成果を臨床に応用できる技術や創薬の開発（トランスレーショナルリサーチ*）を担える研究者及び教育者

*:基礎研究の優れた成果を次世代の革新的な診断・治療法の開発につなげるための橋渡し研究

岐阜大学は今後、国際社会・地域社会に貢献する人材育成を進める。



説明する森脇学長



記者会見の様子

秋の国際月間

「学長主催国際交流パーティー」を開催

グローバル推進本部は、秋の国際月間の一環として11月6日（火）に「学長主催国際交流パーティー」を生協第2食堂において開催した。

本パーティーは、本学の外国人留学生や外国人研究者、教職員、国際交流に興味のある日本人学生などが広く国際交流を図ることを目的として実施された。

参加者全員での集合写真を撮影した後、レイモンド・コウ特任准教授の司会でパーティーが始まった。

主催である森脇久隆学長からの開会挨拶の後、参加役員等の紹介があり、その後、鈴木文昭グローバル推進本部長の発声により乾杯が行われました。本パーティーは立食形式で行われ、参加者らは、食事と歓談を楽しみながら、互いの交流を深めた。

今回は、本学の国際交流を紹介する目的で、事務職員海外実務研修経験者、留学経験のある日本人学生、外国人留学生、海外での研究活動実績のある日本人研究者、外国人研究者による体験談などのスピーチがあり、さらに本学が来年度から設置するジョイント・ディグリープログラムについての説明もされた。

歓談中は、森脇学長が各テーブルを回り、参加者と会話や写真撮影を楽しんだ。

また、外国人留学生のパフォーマンスとして、ミャンマーからの留学生による伝統舞踊の披露もあり、参加者はそのエキゾチックな雰囲気魅了された。

最後に嶋睦宏グローバル推進副本部長から各発表者の講評とともに閉会挨拶が述べられ、大盛況の内に閉会となった。

今回のパーティーでは約220名と多くの方の参加があり、開催後のアンケートでは「新しい仲間と知り合える機会となった。」、「素晴らしい会であり良い経験であった。」、「一生忘れることのない会であった。」などの声が多く聞かれた。

本パーティーは、普段なかなか接することのない学長、役員等、外国人留学生・外国人研究者や日本人学生・日本人研究者の相互の交流の場を提供するとともに、多様な人々と交わり異文化理解を深める場として、大変実りある機会となった。



参加者全員での記念写真撮影



学生と森脇学長との記念写真



学生によるパフォーマンス

(撮影：杉浦隆 工学部教授)

サラマンカ大学（スペイン）と大学間学術交流協定を締結

11月26日（月）、森脇久隆学長と鈴木文昭理事（国際・広報担当）・副学長がサラマンカ大学を訪問し、同大学と大学間学術交流協定を締結した。

サラマンカ大学は、カスティーリャ・イ・レオン州サラマンカ県の県都であるサラマンカ市にある大学で、大学を含む街全体がユネスコの世界文化遺産に指定されている。

街の各所に学部の建物が点在し、大学の街として学生たちで活気があふれている。

同大学は今年で創立800周年を迎えた。サラマンカにゆかりのある岐阜県でも2018年4月14日に、リカルド・リベロ・オルテガ総長をはじめとするサラマンカ大学関係者を招きサラマンカ大学800周年記念事業が開催された。森脇学長は本事業の実行委員会委員長も務めた。

協定の締結により、両大学間での研究者及び学生交流を含む交流が開始される。協定締結に際し、サラマンカ大学リベロ総長は、「創立800周年という節目の年に、サラマンカ市と繋がり深い岐阜にある岐阜大学と協定を締結したことを大変嬉しく思う」と発言した。一方森脇学長は、「またお会いできて嬉しく思う。両大学の強みを生かした分野での相互の学術交流を期待する」と発言した。

協定締結後、13世紀からサラマンカ大学にある中世図書館で、昨年11月に開始した美濃・伊吹山の薬草に係る文献等の視察を行なったのち、サラマンカ大学日西文化センターを訪問し、岐阜県の地歌舞伎や美濃和紙の展示を視察した。

また、翌27日（火）には、岐阜県OKBふれあい会館内にあるサラマンカホールの名前の由来となった故辻宏氏が修復したパイプオルガンにある大聖堂の視察も行った。

本学とサラマンカ大学は、今回の協定締結をきっかけとし、今後様々な分野で交流していくことが期待される。



森脇学長（右）とサラマンカ大学リベロ総長との懇談



協定書への署名の様子



協定締結後の記念撮影。左から鈴木理事，リベロ総長，森脇学長，ホセ・アベル・フロレスサラマンカ大学日西文化センター所長

サラマンカ大学中世図書館の視察と文献の確認

森脇学長と鈴木理事が日本・スペイン学長会議に出席

11月27日(火)～28日(水)、サラマンカ大学(スペイン)で同大学が主催する日本・スペイン学長会議(日西学長会議)が開催され、本学から森脇久隆学長と鈴木文昭理事(国際・広報担当)・副学長が出席し、森脇学長が会議二日目に講演した。

本会議は、日西外交関係樹立150周年を機に、日西大学間交流の活性化に向け、両国の大学学長や国際担当副学長等が集まり、日西の大学間交流の現状及び今後の交流促進に向けた方策について議論する機会を設けるために開催されたものである。

本学は、昨年サラマンカ大学、岐阜薬科大学とともに三大学間で学術連携を開始したこと、本年4月に岐阜県で開催されたサラマンカ大学800周年記念事業(実行委員会委員長は森脇学長)を岐阜県と連携しつつ開催したこと、本会議開催前日の11月26日(月)に開催地であるサラマンカ大学と大学間学術交流協定を締結し大学間の学術交流を本格的に開始する予定であったことなど、日本・スペイン間の大学連携をすすめていることから、本会議に出席した。

会議では、二日間にわたり基調講演やプレゼンテーション、日西相互の大学マッチングやレセプションによるネットワーキングなどが行われ、活発な議論や積極的な交流がなされた。

二日目のプレゼンテーション及びディスカッションセッションでは、森脇学長が「世界大学ランキングの展望(*Perspective of world university ranking*)」のタイトルで講演した。講演で森脇学長は、世界大学ランキングからみる日本、スペインにおける大学のそれぞれの強みや特徴を分析し、今後の連携の可能性について示唆した。

本会議の様子はスペイン全国紙や地方紙にも取り上げられた。

サラマンカ地方紙掲載：Salamanca rtv Al Día.es (全体写真が掲載)

<https://salamancartvaldia.es/not/195439/compromiso-40-universidades-nbsp-espanolas-japonesas-para/>



会場の様子



森脇学長の講演

The 3rd ICC 2018: A Green Paperless Collaboration Conference Between Sebelas Maret University, Indonesia and UGSAS, Gifu University, Japan を開催

大学院連合農学研究科（UGSAS）は、スブラスマレット大学（UNS）（インドネシア）と共催し、平成30年11月27日（火）・28日（水）の2日間、インドネシアのソロ市のアラナホテルにて、「Climate Change Adaptation and Mitigation: Learning from the Past for Sustainable Strategy Development」と題し、第3回 International Conference on Climate Change（ICCC）を開催した。

本国際会議は、本研究科から広田勲助教、乃田啓吾助教、スブラスマレット大学からビタ教授が基調講演を行った。また、ボゴール農科大学（インドネシア）からヒダヤット教授、ブラウィジャヤ大学（インドネシア）からクルニアツン教授、ワーゲニンゲン大学（オランダ）からメヌ教授、ペシャワール大学（パキスタン）からムハマッド教授が招待され、様々な視点からの気候変動の影響と対策について講演し、約250名の参加者による議論が行われた。

本国際会議は今年度で3回目を迎え、その間、気候変動が人間生活や環境問題に与える影響を協力してモニタリングし、改善するための努力を継続している。これらの成果は75編の論文として取りまとめられ、環境、農業、法律、社会、経済、文化などの多くの視点から気候変動に関する課題が議論された。

発表論文は、オンライン（<http://iopscience.iop.org/issue/1755-1315/200/1>）で公開されており、各論文はScopusに登録されている。

さらに地球温暖化対策の一環として、本国際会議ではペーパーレス会議を初めて実施した。会議の情報は、Google Play と、Apple Store で検索することができ、資料はウェブサイトから取得できる。新しいシステムを導入しつつ、有意義な情報交換の場を提供することができた。

毎年の本国際会議の開催が研究者、技術者による気候変動研究の発展に大きく貢献することが期待される。



乃田啓吾助教による講演の様子



広田勲助教による講演の様子



基調講演者の表彰



スブラスマレット大学・副学長と基調講演者

表彰受賞者

一般社団法人日本燃焼学会 日本燃焼学会論文賞 受賞

受賞者：安里 勝雄 工学部特任教授

演題：対向流火災によるメタン・水素混合気の燃焼特性の評価

受賞日：平成30年11月15日

外国人研究者の受け入れ（11月）

受入部局	氏名 (国名)	所属・職名	期間	研究題目
連合農学 研究科	エーエッチエム ヌルン ナビ A.H.M. Nurun Nabi (バングラデシュ)	ダッカ大学 教授 Professor, University of Dhaka	2018/11/10 ～2019/2/6	高血圧症および糖尿病を発症したバングラディッシュ人 に対するレニン及びプロレニン受容体遺伝子の機能 ゲノム科学 Functional genomics of renin and (pro)renin receptor genes in hypertensive and diabetic Bangladeshi population: pursuing the environment-induced molecular traits
工学部	Md. GOLAM MAHBOOB (バングラデシュ)	バングラデシュ農業研究所 上席研究官 Senior Scientific Officer, Bangladesh Agricultural Research Institute	2018/11/19 ～2019/2/16	水文・地理空間モデルによるバングラデシュの Haor地域における植林・農林再生計画の策定 に関する研究 Afforestation and reforestation planning in the Haor regions of Bangladesh by combined use of hydrological and geospatial models

産官学連携の実施状況

○共同研究

(平成30年11月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
工学部	松村 雄一	日本電産(株)
応用生物科学部	光永 徹	岐阜県産業技術センター・アピ(株)
工学部	上坂 裕之	(株)デンソー
工学部	八嶋 厚	(株)高速道路総合技術研究所
工学部	志賀 元紀	トヨタ自動車(株)
応用生物科学部	矢部 富雄	日本水産(株)
工学部	山下 実	井上メッキ工業(株)
工学部	速水 悟	日本車輛製造(株)
応用生物科学部	長岡 利	岐阜県森林研究所
応用生物科学部	北口 公司	岐阜県森林研究所
工学部	吉田 佳典	トヨタ自動車(株)
流域圏科学研究センター	李 富生	三和興産(株)
工学部	八嶋 厚	太洋基礎工業(株)/戸田建設(株)
工学部	植松 美彦	JFE スチール(株)
応用生物科学部	北口 公司	日本ハム(株)/京都大学/名城大学
工学部	神原 信志	東北電力(株)
工学部	高橋 紳矢	(株)佐々木コーティング
医学系研究科	青木 光広	(株)山田養蜂場本社
連合農学研究科	中野 浩平	岐阜県水産研究所
工学部	永井 学志	福原ニードル(株)
工学部	山本 秀彦	ナブテスコ(株)
工学部	三宅 卓志	三菱電機(株)
教育学部	中田 隼矢	東京瓦斯(株)/鹿児島大学
応用生物科学部	光永 徹	京扇産業(株)
工学部	國枝 稔	日本ヒルティ(株)
工学部	田村 哲嗣	(株)リコー
応用生物科学部	村瀬 哲磨	(株)シムコ/名古屋大学
医学部附属病院	木山 茂	(株)LSI メディエンス
工学部	國枝 稔	倉敷紡績(株)
工学部	三輪 洋平	横浜ゴム(株)
工学部	武野 明義	中京化成工業(株)
工学部	八嶋 厚	前田建設工業(株)
工学部	木下 幸治	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)

医学系研究科	大沢 匡毅	公益財団法人サントリー生命科学財団
--------	-------	-------------------

○受託研究

(平成30年11月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
連合農学研究科	中野 浩平	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究所
工学部	岡 夏央	国立研究開発法人科学技術振興機構
生命の鎖統合研究センター	鈴木 健一	国立研究開発法人科学技術振興機構
生命の鎖統合研究センター	木塚 康彦	国立研究開発法人科学技術振興機構
生命の鎖統合研究センター	安藤 弘宗	国立研究開発法人科学技術振興機構
工学部	三宅 卓志	カーボンファイバーリサイクル工業(株)
流域圏科学研究センター	廣岡 佳弥子	岐阜県
医学系研究科	深尾 敏幸	学校法人慶應義塾

メディア掲載一覧

○新聞

(平成30年11月分)

掲載日	新聞名	内容
11月1日	中日	直木賞作家が8作品講評 岐阜 中高生短編小説コンテスト ～教育学部附属中学校2年 田中莉久さん～
11月1日	中日	岐阜大と東京海上日動が協定
11月1日	中日	がん就労相談 ～がん相談支援センター～
11月1日	岐阜	留学生, 岐阜で就職を 「愛岐支援コンソーシアム」が研修・交流会 企業や大学, 課題探る ～鈴木文昭 理事(国際・広報担当)～
11月2日	岐阜	◎ちほ先生が見た岐阜人の不思議⑩:「きつね」と「たぬき」 サービス精神も"盛る" ～教育学部 大藪千穂 教授～
11月2日	岐阜	皮膚がんを解説 4日に市民講座 ～医学部附属病院皮膚科 松山かな子 臨床講師～
11月2日	中日	吉田・岐阜大病院長 臨床研究協力呼び掛け ～医学部附属病院 吉田和弘 病院長～
11月3日	朝日	広重の作品場所 杉原さんが母屋を見て... 趣味の骨董品が数百点 ～杉原利治 名誉教授～
11月3日	中日	皮膚と腸の関係説く 岐阜大で市民公開講座 ～医学部附属病院皮膚科 松山かな子 臨床講師～
11月5日	岐阜	日本酒「多望の春」 岐阜大独自の酵母などで開発着々 名称発表 来年2種類披露へ ～医学系研究科 藤本敬太さん～
11月6日	中日	岐阜大の芸術作品語る 3教授, 卒業生絵画も紹介 ～教育学部 野村幸弘 教授～
11月6日	岐阜	◎研究室から大学はいま:テラヘルツ波帯の開拓へ ～工学部電気電子・情報工学科 久武信太郎 准教授～
11月6日	岐阜	不登校の克服 医学が後押し 加藤岐阜大教授, 漫画あす出版 起立性調節障害を解説 子どもや家族の助けに ～医学系研究科 加藤善一郎 教授～
11月7日	岐阜	弓道:第67回岐阜市民総合体育大会 ～中学の部:教育学部附属中学校 赤座岳さん 一般男子の部:万田真樹さん(岐阜大学職員)～
11月7日	中日	地図のコンクール 小中生の16点入賞 岐阜で表彰式 ～「第24回児童生徒地図作品展」知事賞 教育学部附属中学校1年 尾崎正汰さん, 功汰さん～
11月7日	中日	軽くて揺れに強い外塀を 郡上の大林が開発へ

11月7日	読売	岐阜大アート30点紹介 構内作品 パンフで
11月7日	読売	献血：岐阜大学<7日>
11月8日	中日	岐阜市庁舎跡地 南庁舎 民間主体で活用 基本構想案まとまる ～「市庁舎跡地活用基本構想策定委員会」委員長 竹内伝史 名誉教授～
11月8日	岐阜	公開講座：腰痛の最新の知見と治療 生活に役立つ「腰痛と上手に向き合う方法」
11月8日	中日	ドローンで事前調査 各務原大橋を市と岐阜大 ～インフラマネジメント技術研究センター～
11月8日	岐阜	危険箇所知り，親子で防災 鏡島小で災害図上訓練 ブロック塀や家屋 位置確認 ～地域減災研究センター 村岡治道 特任准教授～
11月8日	岐阜	岐阜大留学生ら親睦 国際交流パーティーに 220人 ～森脇久隆 学長～
11月9日	岐阜	12件に助成，寄付金 遠藤斉治朗科学技術振興財団 ～工学研究科 環境エネルギーシステム専攻，工学部機械工学科，工学部電気電子・情報工学科，工学部化学・生命工学科～
11月9日	読売	地域防災に外国人司令塔 県が育成講座 災害時支援や啓発 背景に在住者，訪日客増 ～清流の国ぎふ防災・減災センター 小山真紀 准教授～
11月10日	中日	正しく知りたい，身近な病気 糖尿病特集 11月14日は世界糖尿病デー ～医学系研究科内分泌代謝病態学 堀川幸男 臨床教授～
11月11日	岐阜	苦手な体育 克服するぞ 岐阜大 児童，教授から投球学ぶ ～教育学部 春日晃章 教授～
11月11日	中日	運動嫌いな子も良い汗を 県内3大学の教員が指導 ～教育学部 春日晃章 教授～
11月11日	岐阜	途上国の子ども支援を 県ユニセフ協会 岐阜市でイベント ～県ユニセフ協会・会長 森脇久隆 学長～
11月11日	中日	岐阜大学シティカレッジプログラム【骨粗しょう症の正しい知識と対処法】 ～医学系研究科整形外科学分野 秋山治彦 教授～
11月11日	岐阜	岐阜大病院長ら薬の効能を解説 ～医学部附属病院 吉田和弘 病院長～
11月13日	岐阜	◎研究室から大学はいま：リンパ浮腫の外科的治療 ～医学部附属病院形成外科 加藤久和 准教授～
11月13日	岐阜	岐阜南納税連 習字・作文コンクール 小中生の入賞作決まる
11月13日	岐阜	自然エネや地球温暖化テーマ 環境活動を考える 岐阜市で講座，

		映画上映 ～「第17回岐阜市まるごと環境フェア」 教育推進・学生支援機構 長谷川典彦 特任教授～
11月13日	中日	いびがわマラソン コース定点監視 ドローンが活躍 ～医学部附属病院 看護師 林賢二さん～
11月13日	岐阜	農業, 観光分野で連携 岐阜大とベトナム・フエ大が協定 研究者交流や留学生受け入れ ～森脇久隆 学長～
11月13日	岐阜	フエ省と観光交流促進 ベトナム訪問 古田知事が面談 ～森脇久隆 学長～
11月14日	岐阜	検診で自分を知る 食生活にも注意 オール岐阜で対策 ～医学系研究科内分泌代謝病態学 堀川幸男 臨床教授～
11月14日	中日	ベトナム・フエ大と覚書 岐阜大 人材交流や共同会議検討 ～森脇久隆 学長～
11月14日	日本経済	中部経済特集・上: 名大・岐阜大, 法人統合へ 効率経営で国際競争力 ～森脇久隆 学長～
11月15日	中日	幕末 揺れる美濃国 歴史小説を出版 「公用日記」精読, 切通陣屋が舞台 ～学芸学部(現教育学部史学科卒) 県歴史資料館元館長 小川敏雄さん～
11月15日	中日	岐阜大出身の2人 陶芸とCG作品展 関のギャラリー ～教育学部美術工芸科出身 酒井賢さん, 長谷川清さん～
11月15日	岐阜	「明るい選挙啓発書道 【小学生の部】明るい選挙推進協議会長賞 ～教育学部附属小学校4年 伊藤万央さん～
11月15日	岐阜	企業と留学生が交流 岐阜信金・岐阜大・朝日大 海外事業など意見交換
11月15日	岐阜	「鵜飼漁, 勉強の日々」 山下鵜匠が岐阜大生に講演 「首結び」毎日調整 後輩に苦労伝える
11月15日	毎日	アレルギー治療の拠点 センターを開設 ～医学部附属病院 アレルギーセンター 深尾敏幸 センター長～
11月15日	朝日	アレルギー治療 拠点設置 岐阜大病院 診療科連携し処置 ～医学部附属病院 アレルギーセンター 深尾敏幸 センター長～
11月16日	岐阜	◎ちほ先生が見た岐阜人の不思議④: 石を売る店 名品, 無造作に並び驚き ～教育学部 大藪千穂 教授～
11月17日	岐阜	中部院大付属幼稚園で餅つき大会 留学生と笑顔でペッタン ～岐阜大学留学生～
11月18日	岐阜	◎ぎふ幸せ瓦版: 園児運動量データ化 体力向上目指す 真正幼稚園 ～教育学部 春日晃章 教授～
11月19日	岐阜	公開講座: 腰痛の最新の知見と治療 生活に役立つ「腰痛と上手に

		向き合う方法」
11月19日	岐阜	◎教えてホームドクター：発達障害⑥ SLD, 学齢期に診断 読み書き, 計算の学習技能低下 ～医学部附属病院 塩入俊樹 教授～
11月19日	中日	第6回県駅伝競走選手権大会 ～【大学男子】岐阜大学陸上部 【一般B】岐阜大学職員～
11月20日	中日	築125年の町屋に愛着 根崎さん暮らし実験 「まちに溶け込む入口に」 ～地域科学部2年 根崎怜司さん～
11月20日	岐阜	献体協力者の冥福祈る 岐阜大医学部が慰霊祭 ～医学部 岩間亨 学部長～
11月20日	岐阜	◎研究室から大学はいま：高度医療の診療サポート ～医学部附属生体支援センター 馬場尚志 臨床教授～
11月21日	岐阜	円空の東北, 北海道旅路ルート新説 初製作地, 青森でなく秋田 羽島の十一面観音像, 東北以前の作 ～教育学部 野村幸弘 教授～
11月21日	岐阜	第69回岐阜新聞大賞選考委 各部門候補者を審議 ～選考委員長 森脇久隆 学長～
11月21日	中日	岐阜大生と社会人 県へ提言まとめる 創生研鑽会の発表会 ～地域科学部学生～
11月21日	中日	「吃音の会」に博報賞 障害と向き合う 心育む取り組み評価 岐阜市明郷小 ～教育学部 村瀬 忍 教授～
11月22日	中日	共同獣医学研究科の設置を文科省認める 岐阜大と鳥取大大学院 ～応用生物科学部 杉山 誠 学部長～
11月22日	朝日	岐阜大・鳥取大 共同の獣医学研究科 ～応用生物科学部 杉山 誠 学部長～
11月22日	岐阜	家畜伝染病の研究者養成 岐阜大, 鳥取大が獣医大学院を来春開設 ～応用生物科学部 杉山 誠 学部長～
11月22日	岐阜	河川環境の未来探る 各務原の自然共生研究センターがシンポ 開所20周年, 歩みや成果発表 ～原田守啓 准教授～
11月22日	岐阜	働く若者, 活性化探る 県がガヤガヤ合同会議 ～高木朗義 シニア教授～
11月22日	岐阜	インターンの成果事例報告 県推進協議会 ～教育学部1年 古田翔子さん～
11月24日	岐阜	備えて命を守るプロジェクト：地域で幅広く連携 官学連携で防災に関する情報を発信 ～清流の国ぎふ防災・減災センター 杉戸真太 センター長～
11月25日	岐阜	ぎふフロントライン：親子の時間, 確保できず 白川村, 祭り繁忙期にキッズウィーク ～教育学部 長谷川哲也 准教授～

11月26日	中日	外国人留学生13人 日本語でスピーチ 岐阜大で弁論大会
11月26日	毎日	教育の窓：議論本格化 大学の将来像は 高大接続 教育改革シンポ
11月26日	岐阜	腰痛 上手に向き合おう 岐阜市で健康フォーラム 岐阜大准教授ら講演 最新の治療や予防法など紹介
11月27日	岐阜	◎研究室から大学はいま：木曾馬保存，多様性も考慮 ～連合獣医学研究科臨床獣医学 高須正規 准教授～
11月27日	中日	岐阜大「模擬患者の会」20年 医学生の対話力後押し 近年は会員不足，来年度養成講座
11月28日	中日	落語の青春 学生選手権「てんしき杯」：スタッフと演者の二役 部長はつらいよ ～落語研究会～
11月29日	中日	地中熱利用 ホット目線 岐阜市で産官学研究会が見学会 空調，優れた効率 ～工学部社会基盤工学科 大谷具幸 教授～
11月29日	岐阜	岐阜大留学生と就職支援交流会 安部日鋼岐阜本社
11月29日	中日	岐阜でマタイ受難曲を披露 来月1日 岐阜バッハ合唱団 ～植松峻 名誉教授～
11月29日	岐阜	新聞カフェ：避難所の環境 心の負担減らしたい 地震工学研究室 防災グループ ～流域圏科学研究センター 小山真紀 准教授～
11月30日	岐阜	◎ちほ先生が見た岐阜人の不思議④：美術館と博物館 合計館数136は全国5位 ～教育学部 大藪千穂 教授～
11月30日	中日	県警科捜研の森研究員と岐阜大 新たな動物識別法開発 ～連合農学研究科 松村秀一 教授，博士課程 森 幾啓さん～
11月30日	岐阜	鮮やかな花 輝き放つ フラワージュエリー きょう教室作品展 ～医学部附属病院～

○テレビ・ラジオ・雑誌等

(平成30年11月分)

放送日	番組名	内容
11月5日	ぎふチャン 17:40～ 「お茶の間ステーション 2時6時」	『減災ラジオ』 「内陸型地震の研究や備え」 清流の国ぎふ防災・減災センター 杉戸真太 センター長
11月21日	CBC テレビ 16:50～ 「イッポウ」	幼稚園者や小学校の運動が苦手な子どもに対する運動指導の取り組みを紹介 教育学部 春日晃章 教授

<p>11月26日</p>	<p>ぎふチャン 17:40～ 「お茶の間ステーション 2時6時」</p>	<p>『減災ラジオ』「防災・減災センターのこれまでの取 り組みについて」 清流の国ぎふ防災・減災センター 杉戸真太 センター長</p>
---------------	---	---

◇第637回 役員会

11月1日(木)

(議事)

1. 教育職員雇用申請について

◇第88回 経営協議会

11月6日(火)

(審議事項)

1. 東海国立大学機構(仮称)について

◇第638回 役員会

11月8日(木)

(議事)

1. 平成30年度分教員人事について
2. 教育職員雇用申請について

◇第8回 部局長・部長会

11月8日(木)

(協議事項)

1. 東海国立大学機構(仮称)について

◇第639回 役員会

11月15日(木)

(議事)

1. 平成31年度分教員人事について

◇第175回 教育研究評議会

11月15日(木)

(審議事項)

1. 学生の不幸事について
2. 平成31年度の全学共通教育科目に係る非常勤講師経費の負担に関する申合せ(案)について
3. 地域科学部の教育課程と履修単位基準(案)について
4. 新学部の設置及び地域科学部に関する方針について
5. 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の設置及び運営に関する構成国立大学法人間協定書等について
6. 東海国立大学機構(仮称)について

◇第8回教学委員会

11月20日(火)

(議事)

1. 2019年度学年暦(案)について
2. 日本語科目及び日本事情に関する科目の充当について
3. 協定大学等のサマースクール等における学修の単位認定について

◇第640回 役員会

11月22日(木)

(議事)

1. 医学部看護学科3年次編入学の廃止について
2. 教育職員雇用申請について
3. 特任教員雇用申請について
4. 懲戒処分事案について

主要日誌

月 日	行 事 名
11/ 1	役員懇談会
1	事務系新任職員フォローアップ研修
1	秋の国際月間
1	医療法第25条第3項に基づく立入検査
1	病院運営会議
2	フォーラム「地域貢献型大学における女性研究者の活躍とAI研究力分析」
2	安全祈願祭
3	第70回医学教育セミナーとワークショップin自治医科大学（～4日）
3	大学共通テスト
4	大学共通テスト
4	第35回岐阜シンポジウム
4	公開講座
5	教学IR作業部会
6	経営協議会
6	（国際月間）学長主催国際交流パーティー
6	企画運営会議
7	運営委員会
7	献血
7	ISO14001内部監査員養成研修修了証書授与式
7	学部運営委員会
7	教務厚生委員会
7	臨時教授会
7	教務厚生委員会（看）
7	学務委員会（看）
8	役員懇談会
8	部局長・部長会
8	部局長・部長会
9	代議員会（連農）
11	一般職員登用試験
11	FC岐阜連携事業 稲刈り
11	清流の国ぎふ防災リーダー育成講座
11	岐阜大学公開講座「親子天文教室」
12	フエ大学（ベトナム）訪問及び大学間学術交流協定締結
12	名大/岐大_英語教育打合せ
13	未来セミナー
13	教学企画室会議
13	学務委員会（医）
14	教務厚生委員会（医）

- 14 環境ユニバーシティフォーラム
- 14 (国際月間)外国人留学生と地元企業との交流会
- 14 教学委員会
- 14 連合一般ゼミナール／農学特別講義Ⅱ (英語) (連農)
- 15 役員懇談会
- 15 教育研究評議会
- 15 第65回解剖体慰霊祭及び献体者御遺骨返還式
- 15 教育研究評議会
- 15 病院運営会議
- 16 平成30年度東海・北陸地区管理事務協議会
- 16 学修支援部門会議
- 16 教学 I R 分析研究会
- 16 代議委員会
- 17 F C 岐阜連携事業 米贈呈式
- 17 特別入試 (推薦 I, 社会人, 帰国生) 3 年次編入試験
- 17 FD 講演会「英語でのアカデミックライティングの基本を確認しよう」
- 18 清流の国ぎふ防災リーダー育成講座
- 19 病院科長会議
- 19 連合獣医学研究科間情報交換会
- 20 事務系職員民間企業実地研修
- 20 ランチタイムセミナー
- 20 岐阜大学防災シンポジウム
- 20 地域教育連携部門会議
- 20 教学委員会
- 20 動物慰霊祭
- 20 研究科委員会
- 21 教授会
- 21 クリーンキャンパス
- 21 (国際月間) 第8回 English Circle of Friends
- 21 研究科委員会・教授会
- 21 臨時教授会
- 21 教授会議 (医)
- 21 教授会・研究科委員会
- 22 永年勤続者表彰
- 22 役員懇談会
- 22 教員会議
- 23 (国際月間) 第17回岐阜県内外国人留学生日本語弁論大会
- 25 清流の国ぎふ防災リーダー育成講座
- 26 コーディネーター会議
- 26 サラマンカ大学(スペイン)訪問及び大学間学術交流協定締結
- 26 (国際月間) 世界の料理フェア

26	げんさい楽座	
26	企画運営委員会	
27	日西学長会議	
27	医局長等合同会議	
28	防災訓練	
28	第3回施設マネジメント推進室会議	
28	岐阜大学×(株)安部日鋼工業合同ワークショップ	
28	DNCリスニング運営勉強会	
28	教授会	
29	特別入試(推薦I, 社会人, 帰国生)	3年次編入試験合格発表